

2020年5月7日

声明（メッセージ）

全国B型肝炎訴訟北海道原告団

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は世界の多くの国で感染が広がり、日本国内においても猛威を振るっています。

北海道でも、感染者数が累計914名を超え（5月6日時点）、亡くなられた方も46名おられます。現時点で感染終息の目処は立っていません。

亡くなられた方々にお悔やみを申し上げるとともに、感染症と闘われている方々の一日も早いご回復を心よりお祈り申し上げます。

私たちは、今、未曾有の危機の中で、私たちを含むすべての人々の命と健康を守るため、その役割を献身的に担おうと努めているすべての医療従事者の皆さまに、心からの感謝と敬意を表明します。

過酷さを増す医療現場において、何よりもまず皆さまご自身の心身の健康が守られることを切に願い、ここに渾身のエールを送ります。

そして、私たちにできる支援・協力は何か、考えていきたいと思っています。

残念なことに、新型コロナウイルス感染者、感染者のご家族、あるいは医療従事者に対して、偏見や差別が向けられつつあるということが報道されています。

私たちB型肝炎患者・感染者とその遺族も、病だけでなく、偏見や差別と闘うことを強いられてきました。病気そのものの苦しみに加え、ウイルス感染者であることからの理不尽な偏見・差別を受け、涙を流してきました。

このような偏見や差別が、新型コロナウイルス感染者やそのご家族、医療従事者に対して向けられることがないよう願ってやみません。

私たちは、新型コロナウイルスに立ち向かうすべての人々と思いをひとつにするとともに、人と人との支え合い、暖かな心の結びつきこそが、この新型コロナウイルス危機を克服する力であると信じます。

互いに傷つけあうことなく、一緒に手をつなぎ、感染症に対する正しい知識に基づいた冷静な対応を取り、一日も早くこの危機を乗り越えられるよう共に努力してまいりましょう。

以上